



献血に行こう!

人間の生命を維持するのに欠くことのできない血液は、未だ人工的に造ることができません。さらに血液は生きた細胞で、長い期間にわたって保存することもできません。輸血を必要とされている患者さんのために、一人でも多くの方のご協力をお願いいたします。

～ 献血から生まれる“愛の贈りもの”が尊い命を救います。～



玉東町で献血が行われます

病気や怪我などで輸血を必要としている患者さんの尊い命を救うため、献血のご協力をお願いいたします。

日時：令和5年2月20日（月曜日）

9時30分から11時45分まで

場所：玉東町福祉センター（役場横）

※献血カードをお持ちの方は、当日ご持参ください。



400mLの採血基準

年齢：男性17～69歳※ 女性18～69歳※

体重：男女とも 50kg以上

年間献血回数：男性3回 女性2回

※65歳以上の献血については、献血される方の健康を考慮し、60～64歳の間に献血経験のある方に限ります。

有効期間は21日間

赤血球製剤の有効期間は21日間と非常に短く、患者さんに安定的にお届けするために、1日平均200人分の献血が必要です。

献血OKのお薬もあります!

献血の問診のひとつに服薬があります。詳細は裏面をご覧ください。

血液検査サービス

献血にご協力いただいた方への感謝の気持ちとして、15項目（肝機能やコレステロール、糖尿病関連検査等）の検査結果をお知らせしています。



お薬を飲まれている方へ

献血OKのお薬もあります!

(服薬の基準はH30.4.1現在)



当日 服用していても献血ができるお薬

(花粉症などのお薬)

- 抗ヒスタミン薬
- 非ステロイド系抗アレルギー薬

(サプリメントなど)

- ビタミン剤
- 漢方薬

(その他、お問合せが多いお薬)

- 痛風・高尿酸血症治療薬(コルヒチンを除く)
- 高脂血症治療薬(エパデル製剤除く)
- 市販の消化胃腸薬
- 高血圧の薬

前日 までの服用ならば献血ができるお薬

- 市販の風邪薬
- 鎮痛薬
- 鎮咳薬

最終的には、献血会場の医師が、当日の体調なども伺い判断いたします。

お薬を服用されている方は、薬品名を受付時にスタッフにお知らせいただくか、お薬手帳をご持参ください。



⚠️ 献血にご協力いただく皆様へ

輸血を受けられる患者さんや献血者の安全のために、次に該当する方は献血をご遠慮いただいております。

- ✓ 3日以内に出血を伴う歯科治療(抜歯、歯石除去等)を受けた方
- ✓ 4週間以内に海外から帰国(入国)した方
- ✓ 1ヵ月以内にピアスの穴をあけた方
- ✓ **エイズ検査が目的の方**
- ✓ 6ヵ月以内に下記に該当する方
 - (a) 不特定の異性または新たな異性と性的接触があった
 - (b) 男性どうしの性的接触があった
 - (c) 麻薬、覚せい剤を使用した
 - (d) 上記(a)～(c)に該当する人と性的接触をもった
- ✓ 今までに下記に該当する方
 - (a) 輸血(自己血を除く)や臓器の移植を受けた
 - (b) ヒト由来プラセンタ注射薬を使用した
 - (c) 梅毒、C型肝炎、マラリア、シャーガス病にかかった



上記以外にも検診医の判断により献血をご遠慮いただくことがあります。



献血に関するお問い合わせはこちらへ

+ 熊本県赤十字血液センター

〒861-8039 熊本市東区長嶺南2丁目1-1

TEL096-384-6725

血液センターホームページ [URL] <https://www.bs.jrc.or.jp/bc9/kumamoto/>



+ 熊本県薬務衛生課

+ 熊本県各市町村献血担当課